

期 限 第 1 回 2026 年 3 月 31 日必着
第 2 回 2026 年 6 月 30 日必着

申請日 2026 年〇月〇〇日

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
理事長 鈴木 佑司 殿

助成金申請書

U-Smile～みんなでつなぐ子ども応援プログラム
(地域協働型包括教育支援事業)

| | | |
|--|----------------------------|--|
| 申請団体名 | 〇〇ユネスコ協会 | |
| 代表者名 | 役職名:会長 | 氏名:〇〇 〇〇 |
| 連絡先住所 | 〒〇〇〇-〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町 〇-〇-〇 | |
| 事業責任者名 | 〇〇 〇〇 | TEL:〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 電子メール:XXXXX@XXXX.XXX.jp |
| <p>(申請団体の代表者が、□に✓を手書きで記入のうえ、ご署名ください)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が定める「U-Smile～みんなでつなぐ子ども応援プログラム助成金交付規程」を承諾のうえ、申請します。</p> <p>署名日 2026 年〇月〇〇日</p> <p>申請団体代表者(自署) 山 田 花 子</p> | | |
| 【推薦による申請の場合】 | | |
| 構成団体会員名 (推薦を行う団体) | | |
| 代表者名 | 役職名: | 氏名: |
| 連絡先住所 | 〒 | |
| 事業責任者名 | | TEL: 電子メール: |
| <p>(推薦を行う構成団体会員の代表者が、□に✓を手書きで記入のうえ、ご署名ください)</p> <p><input type="checkbox"/>公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が定める「U-Smile～みんなでつなぐ子ども応援プログラム助成金交付規程」を承諾のうえ、上記団体を推薦します。</p> <p>署名日 2026 年 月 日</p> <p>構成団体会員代表者(自署)</p> | | |

【申請内容】

| | | | |
|------|---|--|---------------------------------------|
| 事業名称 | 第三者から見て事業内容がわかるように、事業名称を定めてください。 食事付・個別指導型無料学習塾～みんなの学び応援プログラム | | |
| 対象分野 | <input type="checkbox"/> 分野 1) 講演会・勉強会の開催 <input checked="" type="checkbox"/> 分野 2①) 学習支援、居場所支援等の運営費用 <input type="checkbox"/> 分野 2②) 学習支援、居場所支援等の拠点における感動体験の提供 <input type="checkbox"/> 分野 3①) 分野 1～2 に該当しないが、本事業の主旨に沿う活動費用 <input checked="" type="checkbox"/> 分野 3②) 学習支援、居場所支援等の初期費用(初年度 1 回のみ) | | |
| 助成年数 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 年目 <input type="checkbox"/> 2 年目 <input type="checkbox"/> 3 年目 <input type="checkbox"/> 分野 2①の特別延長 (助成通算 年目) | | |
| 申請金額 | 合計 1,120,000 円 (次年度予定 850,000 円) (次々年度 700,000 円) | 対象分野別 内訳 | 分野 2①)1,000,000 円 分野 3②) 120,000 円 |
| 事業目的 | どのような社会課題や地域課題およびニーズを認識し、どういことを解決する目的で事業を行うのか、事業の背景と目的をご記入ください。 ・事業の目的:誰も取り残さない社会づくり ・解決すべき地域課題や背景:〇〇市の〇〇地区には市営団地が多く、ひとり親世帯や生活保護世帯の割合が高い。そのため、有料の塾に子どもを通わせる余裕のない家庭も多く、市が行う無料学習塾からも距離的に遠いため、支援が行き届いていない。このような世帯の小学生の学力を底上げし、格差の解消を目指して、学習及び居場所の提供を行う。行政、他団体、学校とも連携し、地域全体で協働することで、誰も取り残さない社会を目指す。 | | |
| 事業計画 | 実施期間 (いつ) | 2026 年 4 月～2027 年 3 月 | |
| | 実施場所 (どこで) | 【実現性】 実施する事業を行う実施場所を具体的にご記入ください。 〇〇市〇〇町 1-2-3 〇〇団地集会室 | |
| | 実施体制 運営体制 (だれが) | 【実現性】実施する事業を行う体制についてご記入ください(運営委員会、運営担当人数、イベント時のスタッフ人数、ボランティア人数など) ・運営委員会: 4 名 (コーディネーター: 1 名、事業担当: 3 名) ・講師ボランティア: 10 名 ・調理ボランティア: 2 名 | |
| | 対象者 対象人数 (だれに) | 【妥当性】どのような子どもを対象にし、どのぐらいの人数を、どのようにして募集するのか、広報方法や募集方法などをご記入ください。 ・対象:小学生 15 名(小 1～小 6) 経済的困難や家庭事情などの問題により、学習環境や学習習慣が得られていない子どもなど。 ・募集方法 ①子どもの募集:近隣小学校、子ども食堂でチラシを配布、近隣の公民館や図書館でチラシの掲示や配布、地域の掲示板にチラシを掲示。 ②講師ボランティアの募集:〇〇大学のボランティア掲示板、市社協のボランティア募集や地域学校運営協議会など。 | |

| | | | |
|----------------|----------------------------------|---|-------------------------|
| | 協力団体 (だれと) | <p>一緒に事業を実施する団体等があればご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人〇〇〇 (資金提供・食材提供) ・NPO 法人〇〇〇 (学習教材の提供) ・〇〇〇〇大学 (学生ボランティア募集) | |
| | 実施内容 (何をする) | <p>【妥当性】実施する事業内容の詳細と、必要な資金の主な資金使途についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に、〇〇団地の集会室を借りて、16-18 時は学習タイム、18-20 時は食事・居場所タイムとして開室する。 ・〇〇市内の小学 1～6 年生を対象に、最大 15 名を受入れ、大学生・社会人の講師ボランティアによる学習支援を行う。(学校の宿題サポートの他、連携する学校から提供されたプリントを使用する。) ・2 時間の学習タイム終了後、食事提供も含めた居場所を提供する。食事提供は〇〇子ども食堂と連携し、食前・食後の時間で子どもたちは折り紙や工作などの活動ができるスペースを確保する。 ・講師ボランティアが、学習から食事、リラックスタイムまで子どもと一緒に過ごすことで、学習面だけでなく、食事や心のつながりを含めた包括的な支援を行う。 ・今後、同様の課題を抱える他地域でも展開できるようなモデルを作っていく。 | |
| | 実施までの スケジュール | 2026 年 5 月 | 運営委員会設置 年間計画作成 |
| | | 2026 年 5 月 | 生徒募集面接、保護者面談、講師ボランティア募集 |
| | | 2026 年 6 月 | 学習教室立ち上げ |
| | | 2026 年 8 月 | 体験学習 |
| | | 2026 年 12 月 | 6 カ月効果測定 |
| | | 2027 年 3 月 | 年度成果確認 |
| 期待される 事業の成果 | 成果の内容 | <p>【妥当性】事業を実施することで期待される成果(事業目的の達成に寄与するもの)をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の遅れを取り戻すことにより、自信を取り戻し、自己肯定感がアップする。 ・大学生や地域の社会人等、多様な大人と関わることでロールモデルの意識づけができ、将来の選択肢の幅が広がる。 ・子どもにとっては家庭・学校以外の居場所ができ、保護者にとっても子育てに関する情報を得たり相談したりする場が増えることで、双方の心の安定につながる。 ・本活動を通し、大学生や地域の方にユネスコ活動に関心を持ってもらい、今後の会員獲得に繋げる。 | |
| | 成果を表す 指標 および その 測定方法 | <p>【妥当性】具体的な成果指標(定量的な数字＝人数や回数等)やその指標の測定方法(アンケート、参加者リスト等)をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者リストの作成 ・継続参加者数の推移 ・講師ボランティアのリスト作成 ・参加者へのアンケート実施(9 月、3 月) ・保護者へのアンケート実施(12 月) | |

| | | |
|----------|----------------|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・講師ボランティアへのアンケート実施(12月) ・参加者の進路希望・進学状況調査 |
| | 地域との連携 波及効果 | <p>【公共性】自治体、他団体との連携、地域資源の活用などの地域との連携、事業を実施することによる地域への波及効果についてご記入ください。</p> <p>(他にユネスコ協会・クラブの認知度向上、ユネスコスクールとの連携強化等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコ協会・クラブの地域での認知度向上 ・地域の学校や子ども支援団体との連携 ・本課題に関する地域での関心度アップ |
| 事業継続の方法 | | <p>【継続性】事業をどのように持続発展させていくか、また助成期間終了後の資金計画についてもご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の企業や支援者からの継続的な寄付を募る。 ・〇〇大学と連携し、継続的に学生ボランティアを確保する。 |
| 応募書類チェック | | <p>【要件確認】書類内容不備の場合は、審査対象外となりますので、ご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 助成金申請書〔様式1〕(本申請書) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金予算書〔様式2A・B〕 <input checked="" type="checkbox"/> 助成金振込口座指定書〔様式3〕 <input checked="" type="checkbox"/> 助成金振込口座の通帳写(口座番号がわかる部分) |